

板橋区環境教育推進プラン 2025

平成 30 年度の進捗状況および今後の方針について

1 平成 30 年度の進捗状況について

板橋区環境教育推進プラン 2025 における、平成 30 年度の各施策の進捗状況（暫定値）を報告いたします。

平成 30 年度における成果指標の実績（暫定値）

成果指標	基準年値 平成 26 年度	目標値 平成 37 年度	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 暫定値
施策 1：学びの機会の提供				
①全区民参加型環境保全 キャンペーン参加者数	25,674 人	31,500 人	27,892 人	26,544 人
②環境講座参加者数	22,898 人	30,000 人	19,527 人	22,751 人
施策 2：情報の提供・活用促進				
③環境教育プログラム利 用校（園）の割合	74.4%	100%	74.6%	82.5%
施策 3：人材の育成・活躍促進				
④人材育成に関わる環境 講座参加者数	199 人	400 人	241 人	336 人
⑤環境学習講師派遣人数	363 人	500 人	235 人	222 人
施策 4：場・拠点の整備・活用				
⑥環境登録団体数	27 団体	37 団体	29 団体	27 団体
⑦エコポリスセンター事 業へのボランティア等 参加者数	990 人	1,300 人	842 人	981 人
施策 5：学校等での環境教育の充実				
⑧外部人材を活用した環 境学習実施校（園）の割 合	76.1%	100%	66.7%	67.5%
行動変容				
⑨エコ生活（アクション 9）の実施状況	75.0%	100%	83.7%	81.7%
⑩環境講座受講後の知 識・考え方の変化があっ た者の割合	63.0%*	100%	66.9%	67.4%

*平成 26 年度に基準値がなかったため、平成 28 年度の実績を基準値とする。

2 平成30年度からの取組および今後の方針について

板橋区環境教育推進プラン2025における、各施策の平成30年度からの取組および今後の方針は、以下のとおりです。

施策1：学びの機会の提供

□ 主な取組

- ・エコポリスセンターをはじめ、様々な環境教育につながる講座を実施した。さらに、毎年、エコポリスセンターで実施している区内最大級の環境イベント「環境なんでも見本市」では、今年度は、「SDGs（持続可能な開発目標）」をテーマとした内容を企画している。また、これまでエコポリスセンターの出前講座は、区内の幼稚園・保育園・小中学校の授業を中心に行ってきたが、新たに児童館やあいキッズ等にも周知し、今まで以上に裾野を広げ活動している。

◇ 今後の方向性等

- ・今後も、より良い環境教育につながるよう、「ESD」や「SDGs」の視点を見据えた講座内容等に適宜見直しを図りながら、要望に適した講座を区民や各主体に提供できるよう努めていく。また、出前講座を新たに周知した児童館やあいキッズ等に、より多く取り入れてもらえるよう、内容や申込方法等を工夫し、計画的に事業を進めていく。

施策2：情報の提供・活用促進

□ 主な取組

- ・これまで主に区立幼稚園、保育園、小中学校に対し、環境教育プログラムの周知を行っていたが、新たに、私立の幼稚園・保育園、区内の児童館、あいキッズや各学校で実施している寺子屋事業等にも環境教育プログラムの周知を実施した。また、今年度は、児童館やあいキッズなど、教育課程以外の場でも活用できるプログラムの作成やSDGsを見据えた「生きる力」を考えることを目標とした中学生向けのプログラムの作成も進めている。

◇ 今後の方向性等

- ・現在、区立の環境教育プログラムの利用校（園）の割合については、幼稚園・保育園については、半数以上が活用しており、小中学校においては9割を超える活用が進んでいる。新たに周知した各主体においても、環境教育プログラムの活用促進を図っていく。また、幼児から各段階において質の高い教育に取り組めるようなプログラムを継続して提供できるよう努めていく。

施策3：人材の育成・活躍促進

□ 主な取組

- ・人材育成に関わる環境講座参加者数のうち、エコポリスセンターが「指導者養成講座」として区民向けに実施している「板橋エコみらい塾」においては、基礎編・実践編・卒塾編と各段階に合わせた養成講座に内容や回数を見直し実施した。さらに、「板橋エコみらい塾」においては、「ESD（持続可能な開発のための教育）」や「SDGs」について学ぶ機会も設けている。また、教員向けや保育士向けの研修も引き続き実施した。

◇ 今後の方向性等

- ・今後も、「ESD」や「SDGs」の視点を取り入れた指導者養成講座の実施に努める。また、子ども家庭部や教育委員会と連携し、既に行っている教員、保育士以外に、今後は、児童館職員、あいキッズ受託事業者に対しても、エコポリスセンターが実施する環境教育プログラムを組み込んだ研修を行い、各主体で率先して環境教育プログラムを実践・活用していけるよう普及促進を図っていく。

施策4：場・拠点の整備・活用

□ 主な取組

- ・エコポリスセンターの登録環境団体や個人ボランティア（エコライフサポーター）の活動機会および活動の場の提供を積極的に行っている。

◇ 今後の方向性等

- ・「板橋エコみらい塾」等の指導者養成講座でボランティア人材の育成・確保を図り、環境イベント・事業に参加する機会を設け、新たな活躍の場を提供していく。

施策5：学校等での環境教育の充実

□ 主な取組

- ・外部人材を活用した環境学習として、エコポリスセンターの出前講座のほか、民間事業者・地域住民・保護者等と連携した学習や、町会等の地域人材を活用した環境活動など各学校各教科領域に合わせた環境教育に、積極的に取り組んでいる。

◇ 今後の方向性等

- ・今後もエコポリスセンター、民間事業者、地域と連携した環境教育を推進していく。また、幼稚園・保育園については、平成30年度の外部人材の活用率が低かったため、エコポリスセンターの幼児向けの出前講座のメニュー数や内容を見直し活用を促進していく。さらに、区内環境団体とも協働し、小中学校の教育課程内だけでなく、あいキッズや児童館等の新たな主体への活用促進にも力を注いでいくよう、教育委員会や子ども家庭部とも連携し、今後さらに環境教育の推進を図っていく。

行動変容

□ 主な取組

- ・エコ生活（アクション9）の実施状況については、「環境なんでも見本市」や「エコライフフェア」等のイベントでアンケートを実施した。また、令和元年度4月には、使い捨てプラスチック削減を呼びかける項目を取り入れるなど内容の見直しを行った。
- ・環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合についても、区民向け講座や指導者養成講座などでアンケートを実施した。

◇ 今後の方向性等

- ・環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合については、受講者の環境に対する意識の向上のため、より充実した講座を実施できるよう、環境への動向を常に意識し、新しい情報を取り入れた環境講座を多く提供できるよう取り組んでいく。また、新たな人材や連携先を発掘し、魅力ある講座の実施にも努める。